

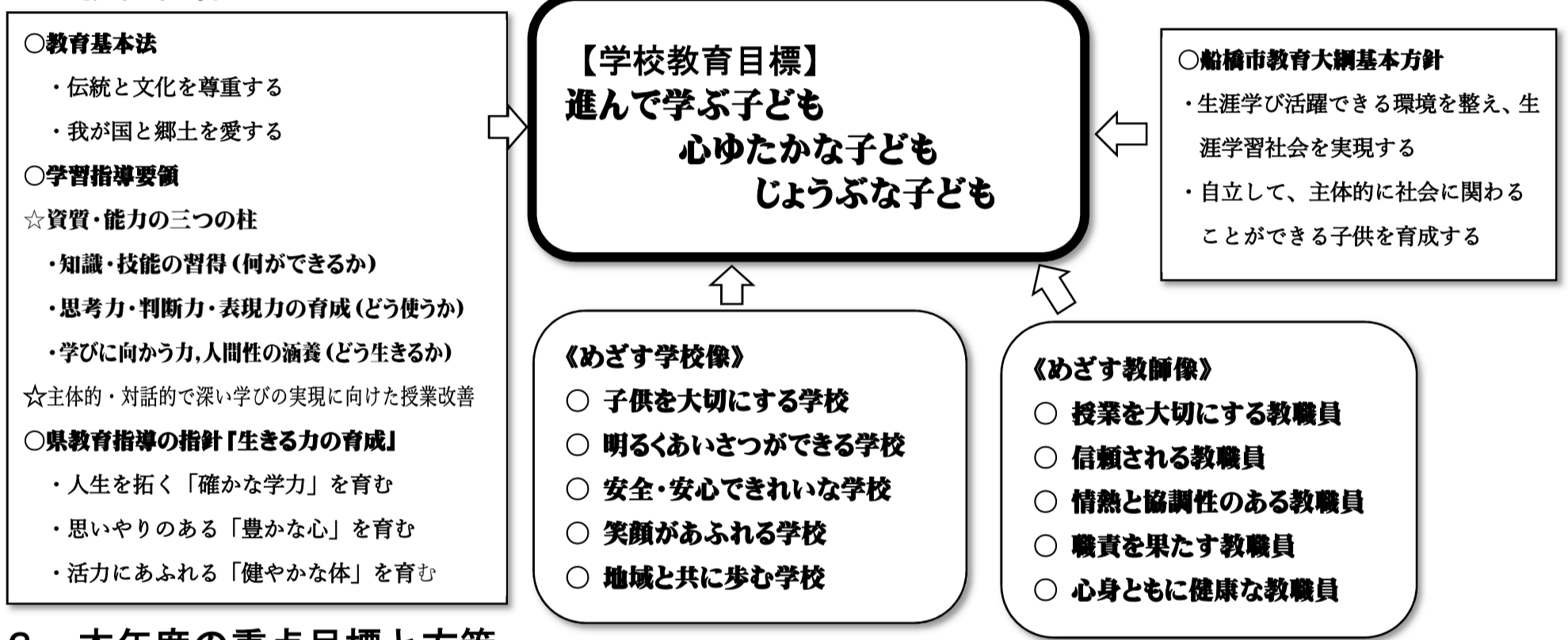


1 基本方針

－ 21世紀をたくましく生きる「とよとみっ子」を育成する －

- (1) 学校運営協議会制度の趣旨を踏まえ、本校の歴史と伝統、地域に根ざした教育活動の展開により「生きる力」を育成する。
- (2) 学習指導要領や県・市の教育施策等を踏まえ、小中一貫教育を通して「知・徳・体のバランスのとれた子供」を育成する。
 《めざす児童生徒像》
 - 学ぶことに興味・関心を持ち、学習の見通しを持って粘り強く取り組む児童生徒
 - 自らの学習活動を振り返り、次の学習につなげていくことができる児童生徒
 - 自分自身を向上させていこうとする強い気持ちを持って学びに向かう児童生徒
- (3) 地域学校協働活動を軸として、保護者及び地域との連携を深め、「社会と関わり、たくましく行動する子供」を育成する。

2 教育目標



3 本年度の重点目標と方策

<p>1. 基礎学力の定着と問題解決能力の育成 【進んで学ぶ子ども】</p> <p>①知識・技能の確実な習得 ○指導目標の明確化と授業改善 ・発問・ノート指導・板書計画の工夫 ・授業のユニバーサルデザイン化 ・朝学習の充実 ・小中一貫教育カリキュラム</p> <p>②思考力・判断力・表現力の育成 ○思考の場、学び合いの場・発表の場の設定 ・言語活動の充実 ・体験活動の充実 ・読書活動の充実と習慣化</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度の涵養 ○見通しと振り返りの活動の場の設定 ・図書館の活用 ・ICT 機器(端末)の活用 ・家庭学習の習慣化【手引きの活用・改善】 ○学び方を学ぶ ・個別最適な学び ・協働的学び</p>	<p>2. 思いやりのある豊かな心の育成 【心ゆたかな子ども】</p> <p>① 集団を高め、個が成長する指導の推進 ○共通の学習生活規律の徹底【豊富スタンダード】 ○「時を守り、場を清め、礼を正す」の励行 ○生徒指導体制(共通理解・共通方向)の充実</p> <p>② 豊かな人間関係づくり ○居場所のある学校づくり ・学校いじめ防止基本方針に則した対応 ・児童が主体的に「いじめ防止」について考える ・教育相談活動(SC・SSWとの連携)の充実 ・生徒指導体制による不登校支援教室の活用 ○特別活動の充実(行事、縦割り班、ボランティア) ・委員会活動 ・幼保小、小中の円滑な接続</p> <p>③ 道徳教育の充実 ○考える道徳、議論する道徳への授業改善 ・道徳の授業公開 ・家庭・地域との連携</p>	<p>3. 健康でたくましい体づくり 【じょうぶな子ども】</p> <p>① 基本的な生活習慣の確立 ○保健指導の充実 ・健康の保持増進と課題解決(学校保健委員会) ○安全指導の充実(学校事故、交通事故等の防止) ○食に関する指導の充実(食物アレルギーへの対応) ・栄養教諭、養護教諭との連携</p> <p>② 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成 ○正課体育の充実 ・年間指導計画等に基づいた指導 ○わんぱくタイムや業間休み等の活用 ・対外競技会出場や行事を通じた意欲の向上</p> <p>③ きれいで落ち着いた環境づくり ○清掃指導の充実 ○整理整頓(くつばこ・かさたて等) ・教室環境のユニバーサルデザイン化</p>
--	--	---

4. 特別支援教育の推進

① 支援体制の充実

○特別支援コーディネーターを中心とした校内支援体制、校内委員会の充実

○SC・SSW との情報共有・共通理解

② 個に応じた支援

○個別の教育支援計画

・個別の指導計画の作成

○必要に応じた合理的配慮の提供

・保護者、関係機関との連携

③ 専門機関との連携

○合理的配慮や就学に関する連携

○家庭環境・養育環境に関する連携

④ 教室環境のユニバーサルデザイン化

5. 安全で安心な開かれた学校づくり

① 学校安全管理と危機管理体制の整備

・子供目線の確実な安全点検の実施と早期対応

・危機管理マニュアルの作成と周知の徹底

・安全指導の充実

・登下校の安全確保（スクールバス、スクールガード等との連携）

② 教育活動の積極的な公開と情報発信

○学校・家庭・地域との連携・協力

・年3回の授業参観、年2回の保護者面談の実施

○保護者懇談会の工夫（子育てに役立つ情報提供）

○ホームページ・学校メール・学校だよりによる情報発信・情報公開

③ 地域の教育力を生かした教育の展開

○近隣学校、近隣施設との連携

○近隣の豊富な人的・物的資源の活用

・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）との連携

・スクールバスを活用した体験活動

○地域行事への積極的参加

6. 信頼される教職員

① 校内研究・研修の充実

○「豊かな表現力を身につけ、主体的に学ぶ子の育成」を目指した研究の推進

○小中一貫教育の視点、研究成果の継続

○GIGA スクール構想（ICT 機器・端末）を活用した指導力・活用能力の向上

② PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルによる教育活動・働き方の改善

○学校評価による教育活動の見直し

○目標申告の活用

③ 不祥事根絶

○学校から不祥事を出さない職場風土

・学校運営への積極的参画

・モラルアップ委員会の充実

④ 働き方改革の推進

○業務改善の視点と業務遂行

・GIGA スクール構想（ICT 機器・端末）の活用

・学校運営協議会、地域学校協働活動との連携

○勤務時間を意識した働き方の推進

・ノー残業デーの設定

